

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	校長	東 秀樹	生徒指導主事	中村 純子
-----	-----------	----	------	--------	-------

取組事例名 『モザイクアート制作』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協働力」	1	「主体性」	2	「自律」	3

取組のねらい

3年生に対して、これまで学校やみんなを引っ張ってくれたことへの感謝の思いと進路先での活躍を応援する気持ちを込めて、1, 2年生でモザイクアートを作成する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード：ちょっと先の未来』
<p>1 モザイクアート制作のねらいと実施内容の説明 (生徒会執行部, オンライン)</p> <p>2 画用紙に自分が割り当てられた場所の色付け各自で行う (モザイクの作成, 個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当場所が連番になるように配付する(配付時の工夫) ・同じ色を担当する人で協力して混色を行う(協力することで作業効率アップを図る) <p>3 3年生へのメッセージを記入する (メッセージの記入, 個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動, 行事, 学校生活等の視点で書く(上級生との関りを想起し, メッセージを書く) ・複数枚に渡ってバランスよく書く(完成図をイメージし記入の仕方の工夫) <p>4 モザイクを貼り付け, 作品を完成させる(学級)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスで協力して, クラス部分を完成させる(きれいに仕上げるために, 協力する) <p>5 花飾りをつくる(有志)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業が早く終わったら, 外枠飾りの花を作る(積極的に制作に関わろうとする姿勢で臨む) <p>6 完成した「モザイクアート」「メッセージ」を披露する (1, 2年生, 3年生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生が協力して完成したモザイクアートを見て, メッセージを読む(1, 2年生:自分たちの取組と思いで, 1つの作品が完成したことを感じ取る)(3年生:モザイクアート, メッセージから, 中学校3年間の生活を振り返る) 	<p>『ICTの活用』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って, 執行部が説明する。(生徒会生徒による企画, 事前準備) <p>『俯瞰』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・作品や作業の全体像をイメージしながら取り掛かる。 <p>『協力』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・一人で取り組むのではなく, クラスメイトが互いに力を借りたり貸したりしあって, 作業を進める。 <p>『想像』</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・完成したモザイクアートや書かれているメッセージから互いの思い想像する。

取組の成果と課題

1, 2年生に行ったアンケートでは, 肯定的な回答をした生徒の割合は次の通りであった。

- ・モザイクアート制作の目的は理解できていた。98.7%
- ・作品の全体像をイメージしながら取り組むことができた。89.9%
- ・クラスや学年で協力することができた。98.7%
- ・3年生に感謝の気持ちや進路先での応援等の思いをメッセージで書き表すことができた。96.3%

モザイクアートの性質上, 全体像をイメージすることの難しさはあったが, 目的を理解し, 感謝や応援の気持ちを形にすることで, 多くの生徒は達成感を得ていた。